

令和5年度 松山工業高校橋梁点検研修会を開催しました

○高度経済成長期以降、集中的に整備された多くの橋梁やトンネルなどの道路インフラでは、高齢化・老朽化が確実に進んでおり、これらのメンテナンスを着実に実施していくことが必要となっています。

○「愛媛県道路メンテナンス会議」において、将来の土木事業を担うことが期待される地元の松山工業高校生を対象に、道路橋の老朽化の現状やメンテナンスの重要性について理解を深めていただくために、橋梁の損傷原因や損傷の種類、補修方法などを学ぶ、「橋梁点検研修会」を開催しました。

○愛媛大学大学院理工学研究科の森特定教授の研修指導などにより、生徒達は道路メンテナンスへの理解を深めることができました。

【開催概要】

■日 時: 令和6年3月14日(木) 9:10~12:30

■実習会場: 精農高架橋 (松山市道千舟古川線)

■出席者: 松山工業高校 土木科1年生 39名

(愛媛大学大学院理工学研究科 森特定教授、松山河川国道事務所 9名、愛媛県道路維持課3名 他)

■研修内容

●実習(コンクリート橋における点検実習)

- ・ひびわれ、うき、はくり、鉄筋露出、漏水・遊離石灰、定着部の異常等の確認
- ・シュミットハンマーによるコンクリート強度測定

●実習成果発表

- ・点検写真、損傷スケッチ、コンクリート強度計算結果、感想等をまとめ、各班全員が発表
- ・各班の発表内容への森特定教授からの講評

●森特定教授による座学(これからの橋梁維持管理)

- ・橋梁点検概論(点検記録の重要性等)
- ・精農高架橋の損傷メカニズム解説
- ・未来の土木技術者へのエール



森特定教授による実習指導



コンクリート模型を用いたひび割れ計測



シュミットハンマーによる強度測定



現地実習成果発表の状況